

天理岳道迷い(2021年5月)

はっきりと新しめのテープに誘導され、どんどん標高を下げ道迷い。来た道を登り返し事なきを得た。



解説

はっきりと新しめのテープに誘導されてしまい、どんどん標高を下げ、GPSによるルート逸脱の警告で我に返る。きっと、稜線は危険だから遠巻きにトラバースするのかなと期待するが、方角が全然違うので、泣く泣くもういちど登りなおす。泣(突然、テープの目印が出てきてまんまとダメされました)

標高差200mくらい登り返して心が折れかける。天理岳付近に戻ったところで、もういちどよく目を凝らし地図と方角、GPSのルートを頼りに稜線沿いを進む。(HP参照)

ピークからの下りで道迷いをする典型的パターン。加えてテープの目印があると道に迷う確率もアップする。GPSによるルート逸脱の警告機能を利用されているので、使えるものは何でも使えばよいと思っている。

どんどん高度を下けているときに「あれっ？おかしい？」と思ったはず。この時点が遭難と道迷いのターニングポイントと思っている。この初期の段階で現在位置を確認することがとても大切で、私は「あれっ？」と思ったときに現在位置を確認する癖をつけている。なので、道に迷った時に、初期の段階で気づくことができている。